

2021年12月 9日
宮地エンジニアリング株式会社

FRP 防護板の設置状況の確認を行いました

古間木橋のFRP 防護板の設置状況の確認を2021年11月5日に行いました。
内部の作業環境向上のため、FRP 防護板に明かり窓を設けて明るさを確保しています。
ヘッドライトの明かりがなくても足元に不安はなく、防護板上を歩くことが出来ました。また、今回の調査でFRP 防護板が常設足場として正常に機能していることが確認できました。



外観
左右の主桁に挟まれた部分が
FRP 防護板です。

FRP 防護板



内部
下側の白っぽい部分が FRP
防護板、明るく光っている部
分が明り窓です。

古間木橋（青森県三沢市、管理者：青森県）は第三セクター「青い森鉄道」（元東北本線）上空に架かる3径間連続箱桁橋です。中央径間の跨線部に常設足場としてFRP 防護板が設置されています。弊社は防護板の製品供給を行いました（施工は他社です）。状況確認に伺った時点で橋面の工事が進行中でした。

絶縁性を有するFRP 防護板を設置することで、点検作業者の安全性および作業効率を向上することができます。

<FRP 防護板>

https://www.miyaji-eng.co.jp/business/frp/frp_protection.html